

STEAM教育時代における「芸術の創造性」

特別講演

創造的 教養の すゝめ



岡田 猛 氏

東京大学 客員教授・名誉教授

略歴

カーネギーメロン大学大学院博士課程 修了(Ph.D. in Psychology)
名古屋大学大学院教育発達科学研究科 助教授、教授を経て、
東京大学大学院教育学研究科 准教授、教授。
定年退職後、2025年4月より現職。
経済産業省「アートと経済社会について考える研究会」委員 他歴任。

2026年
3月22日(日)
13:00～16:00



要 QRコード申込
参加無料・3/10まで

対面参加：愛知県立大学 愛知県立芸術大学 サテライトキャンパス
ウィングあいち15階 (名古屋駅から徒歩7～8分・定員50名)

遠隔参加：Zoom (定員100名)

AIが高度化していく現代社会。教育は「知識の習得」から「価値を創造する力の育成」へ、産業は「製造中心のモデル」から「価値を顧客と共創するモデル」へと、大きな転換が求められています。こうした変化は、私たちの学び方や働き方そのものを問い直すとともに、創造性や探究心、他者との協働といった「人間ならではの力」が必要とされています。

そのような中、従来型の理数教育 STEM に芸術教育 Arts を加えた STEAM が注目され、アート思考やデザイン思考の広がりが見られるように、「芸術の創造性」へ注目が集まってきました。本企画では、芸術や創造性の認知科学研究における世界的権威、岡田猛氏をお招きして特別講演を実施いたします。また、愛知県立大学・愛知県立芸術大学の共同プロジェクトチームによる研究報告も加え、未来の教育や産業の在り方について、皆様と共に深く考える場を創出いたします。

12:30

受付開始

13:00

開会挨拶


白河 宗利 愛知県立芸術大学 学長

芸術はアーティストが「表現すること」で生まれます。近年では、こうした芸術的实践による創造性が、人の思考や学習、協働、コミュニケーションでどのような意味をもつのかを理論的に問い直す試みも進められています。本企画では、認知科学に基づく芸術の創造性について第一線で活躍されている岡田猛氏のご講演とともに、大学間の共同研究の成果を報告いたします。芸術と科学、教育と産業、理論と実践を横断する対話を通して、これからの教育や社会の在り方を考える貴重な機会となることを期待しております。

13:10

特別講演 岡田 猛 氏 「創造的教養のすゝめ」

特別講演では、近年の芸術と創造性に関する認知科学研究や、STEAM 教育に関する実証研究の成果を踏まえながら、岡田猛氏が提唱しておられる芸術を通した「創造的教養」に関するお話をいただきます。その中で、「創造性が発揮される社会はいかにして可能か」という問いを軸に、未来の学校や産業の発展に向けて、芸術が果たしうる役割についての視点を提示していただきます。

14:20

米国先端大学 × 「芸術の創造性」

STEAM概念の発端となった米国トップの芸術大学ロードアイランド・スクール・オブ・デザインや、イノベーターを輩出し続けるマサチューセッツ工科大学、ハーバード大学への実地調査をもとに、「芸術の創造性」の起点となりながら学校と産業をつなぐ大学の在り方について報告します。


藤原 智也

愛知県立大学
教育福祉学部 准教授
美術教育学 専攻


柴崎 幸次

愛知県立芸術大学
美術学部 教授
デザイン 専攻

14:45

認知心理学 × 「芸術の創造性」

子どもの発達にみられる創造性や、これからの学校で求められる学びの在り方について、芸術や創造性に関わる認知心理学・認知科学の研究をもとに報告します。ここでは、チンパンジーと幼児の比較や、ヒトの認知構造における芸術に関する研究について紹介します。


高橋 範行

愛知県立大学
教育福祉学部 教授
音楽教育学 専攻


瀬野 由衣

愛知県立大学
教育福祉学部 准教授
発達心理学 専攻

15:10

パネルディスカッション

岡田猛氏と白河宗利愛知県立芸術大学学長に、共同研究プロジェクトのメンバーを加えて、パネルディスカッションを行います。後半では、ご来場の皆様からご質問をいただきながら、双方向の活発なコミュニケーションの場になればと考えています。

15:55

閉会挨拶

総合司会

16:00


井手 康人

愛知県立芸術大学
美術学部 教授
日本画 専攻


阪野 智啓

愛知県立芸術大学
美術学部 准教授
日本画・保存修復 専攻